

平成二十九年

十月二十二日(日)

午後一時半開演(午後二時開場)

於 大津市伝統芸能会館

びわ湖大津秋の音楽祭 参加公演

入場無料

# 舞



# の会

地歌舞 古澤流 侑毘会



狸々

古澤侑毘沙  
古澤侑毘栞

東山

阿辻 明美

黒髪

山崎 陽子

梅

尼崎 久美子

千鳥

野村 良子

ひなぶり

森下 ちづる

松

古澤 侑毘映

竹

古澤 侑毘沙

水鏡

古澤 侑毘良

珠取海士

古澤 侑毘栞

家元

由縁の月

古澤 侑峯

フォルクローレ演奏

タンタナクイ

琵琶湖周航の歌

舞体操 全員

火桶

会主 古澤 侑毘

千穂栞(四時半頃終演)

仮番組の為変更はご了承下さい。

柳川三味線

地方

戸波 有香子

監修・古澤 侑峯

題字 故 延木甲野

お問合せ 090-3261-9334

077-573-2464

共催 大津市伝統芸能会館



## —ごあいさつ—

皆様にはますますご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

さてお陰様で本年も家元古澤侑峯師、フォルクローレ演奏のTANTANAKUY様をお迎えして、侑毘会第6回舞の会を開催させていただき運びとなりました。又、京都地唄演奏家・戸波有香子先生にもご協力を賜ります。

「舞に心」とお教えいただき、日々精進してまいりました。平素のお稽古の仕上げをご披露申し上げます。何分拙いところはお目こぼし頂き、ご批評賜りますよう、お願い申し上げます。

秋の好季節、お忙しいことと存じますがお誘い合わせの程、お出ましますよう一同、心よりお待ち申し上げます。

平成29年秋吉日

会主 古澤 侑毘

## —舞のお稽古—

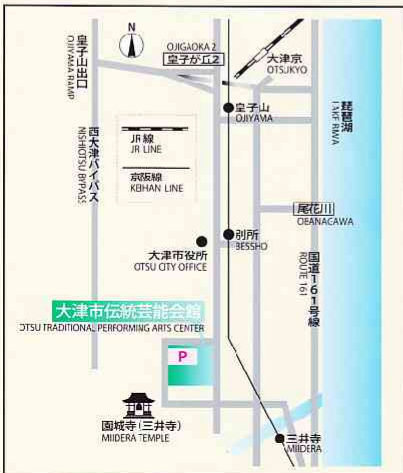
**地歌舞とは** 地歌(上方歌)を基に舞う「舞」の意、平安時代の白拍子の舞の流れを汲み、宮廷の芸能からも筋を引く処があり 能の影響を深く受けています。本来、座敷で舞われるものであるところから「座敷舞」とも呼ばれ、江戸期には中・上流家庭で子女の情操教育の一つとしても広く培われてきました。

**おけいこ** 稽古は基本的な着物の着方、立ち方、座り方、歩き方などから始めて、地歌などの曲を一曲づつマスターしていきます。精神を集中し 心を込めて舞ううちに 到達する精神状態は、禅を組んで行きつく空白の状態になるのが理想です。それまでの段階では、身体の癖を直し腰を落とした状態で安定した自然な動作、所作を行うことを身につけ、余分な力を抜くことを覚えます。それは 動作そのものの訓練と言うよりは、むしろ動作をするとき(あるいは静止するとき)の気の入れ方、心の入れ方を学ぶほうに重点が置かれています。

したがって、一人一人の身体の特長や、精神の個性が活かされ、舞をベースにその人にあった自然の身体の動き、心の動きをマスターすることによって、より豊かな人生を満喫する事を目的としております。

**舞体操とは** これからの人生をよりはつらつと健康に楽しく過ごして頂くために、「舞体操」をお勧めします。舞体操は地歌舞を基に 健康と楽しみのために考え出された誰にでもできる体操です。荒城の月、この道、さくらさくら…etc 年令等関係ありませんので、一緒に楽しく優雅に舞ってみませんか？

### 大津市伝統芸能会館へのアクセス



### お稽古場

大津市仰木の里公民館	毎 週(月)
京都・亀岡ガレリア	月二回(火)
大津市伝統芸能会館	月二回(水)
近江八幡文化会館	月二回(金)

[交通案内]

京阪石坂線

「別所」駅から南へ約400m

JR琵琶湖線

大津駅からタクシーで約10分

JR湖西線

大津京駅からタクシーで約5分

御来館者専用の

無料駐車場がございます。

(先着50台程度)

指導・師範

古澤 侑毘

Tel・Fax 077-579-4493

携帯 090-3261-9334

※お気軽にお問い合わせください